

第 3 回委員会におけるご意見と対応

★印は委員会の中で事務局から回答済みの事項

テーマ	ご意見	対応
(1) 施設配置計画について		
オープンテラス	屋上のオープンテラスについて、冬場の屋外は寒くて人は来ない。半年の集客で採算がとれればよいが、2 階建ての道の駅はあまり見たことがない。	★今後、運営事業者との協議をとおして検討する。
	海が見えるレストランで食事をしてもらうのがよいのでは。具体的に示されなければ答申できない。 暑い・寒いという問題で変更を余儀なくされるようでは困る。	★今回は、ロケーションを活かすという考え方についてご賛同いただければ、設計については、今後民間事業者から提案を募りたい。
建築	外観も含めて魅力のある道の駅をつくって、評価される形にしたい。 私は見た目ではなく中身だと思う。見かけがよくても中身がよくなければ人は来ない。建物は掘立小屋でもよい。	
機能連携	保健・福祉・子育て支援施設や温浴施設との連携とあるが、構造においても連携しているのか。雨よけなどができるのか。	★連携をしっかりしていくべきというご意見として受け取り、今後、保福子施設も具体化する中で詳細を詰めていく。
	連携で賑わいを生む場になるとよいと思う	
	現在、道の駅と保健・福祉・子育て支援施設は別々の 2 棟建てになっているが、双方の建物を 1 つにしたら建設コストが抑えられるということは、考えられるのか。	★今後、事業者からそのような提案があることを想定している。
眺望	ドローンで撮った写真について、高さが 11.5m とある。これが 3 階の高さであれば、2 階はもう少し低い。2 階からこの写真の眺望が楽しめるような誤解を与えるイメージはいかがなものかと思う。	2 階レベルの写真に修正。
(2) 施設規模、概算事業費、収支シミュレーションについて		
事業手法	収支以上のメリットが得られる事業手法を選定していくことも必要かと思う。	民間提案も含めて、次年度以降に検討していく。
補助金	補助金をあてにしすぎでは大変なことになる。道の駅の計画をきちんとしてから、補助金について検討した方がよい。	今後、国等の補助金を所管する団体と具体的な協議を進めていく。
売上想定等	目玉商品があれば売上があがるが、なければ続かない。3 年目になるとかなり厳しい。客を呼ぶためには目玉商品が必要であるが、維持するのが難しい。	★目玉商品や集客に関しては、民間事業がより良いアイデアを持っていると考えており、より効果的な運営等が期待できる民間事業者を探していきたい。災害については、コロナ禍も含めて対応を検討する必要があると認識している。
	災害が多いのが一番の問題である。梨も海産物も災害にあった場合には売るものがない。収支をどこがどれだけみて、運営を続けていくのか。そこまで想定されているか。	

テーマ	ご意見	対応
	レストランとカフェの売上は、低く見積もってあるという認識である。ロケーションをうまく活かすことで、黒字化されるのではないか。	
(3) 事業手法について		
地元企業の参画	サウンディング調査の中で、PFI 事業について具体的に話をした会社は存在するのか。地元事業者がでてきたら優遇されるのか。	★理想は全て地元企業で担っていたことである。
保健・福祉・子育て支援施設との複合化	<p>積極的に連携することで、子どもを預かってもらえて、お母さん方はお茶もできるということになるとよい。子育てにはゆとりが必要である。福祉施設に2時間でも子どもを預けられて、お茶を飲めればよい。連携するなら、中途半端ではなく積極的に連携してほしい。</p> <p>複合化には大賛成である。道の駅は、平日の賑わいをつくるためには、市民に来ていただく必要がある。コスト削減も図れるため、この方向で進めていただきたい。</p>	保健・福祉・子育て支援施設はこれから、具体的な機能を検討していく段階であるため、お互いに連携を考えていきたい。